


安芸高田市公共施設等総合管理計画 個別計画

(1) 公共施設 ⑦集会施設編

平成 29 年 3 月

 広島県安芸高田市

【担当課】

危機管理課 財産管理課 政策企画課 環境生活課 人権多文化共生推進課
社会福祉課 子育て支援課 高齢者福祉課 保健医療課 地域営農課 農林水
産課 商工観光課 管理課 住宅政策課 建設課 上下水道課 消防総務課
教育総務課 生涯学習課

目 次

1	個別計画策定の趣旨及び概要	1
	(1) 策定の趣旨	1
	(2) 概要	1
2	施設財産状況	2
3	各種分析結果	3
	(1) 利用状況	3
	(2) 1 m ² 当たりの運用コスト状況	3
	(3) 利用者 1 人当たりの運用コスト状況	3
4	施設について	4
	(1) 施設の役割	4
	(2) 現状と課題	4
	(3) 今後の施設の考え方	4
5	再編検討結果	5

1 個別計画策定の趣旨及び概要

(1) 策定の趣旨

安芸高田市に限らず多くの市町村が有している公共建築物やインフラ資産等は、今後大量に更新時期を迎えます。また、厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化等することが予想されます。これを踏まえまして、安芸高田市は、公共建築物やインフラ資産等の全体の状況を把握し、長期的視点による更新統廃合等を計画的に実施することにより、財政負担の平準化と施設の最適な配置を行う必要があります。そのため、第2次総合計画及び第3次行政改革大綱と連動した施設面の基本的取り組みを示すため、平成26年度に「安芸高田市公共施設等総合管理計画（以下、「管理計画」という。）」を策定しました。

本計画では、この管理計画で定めた今後の施設整備に向けた公共建築物管理基本方針に基づき、自治振興組織の活動拠点の規模の適正化を図りながら、個別整備計画を策定しています。

(2) 概要

- ・本計画は、管理計画「第4章 1.公共建築物管理基本方針 (7) 集会施設」の方針に基づき検討しています。

2 施設財産状況

施設別に建築年数や運営形態等の状況です

No	施設名	運営形態 ※1	建築年	経過年数 (年)	耐用年数 (年) ※2	構造	総延床面積 (㎡)	収入 (千円) ※3	支出 (千円) ※4
1	ふれあいセンターいきいきの里	指定	平成14年	13	24	木造	317.4	1,217	1,290

※1 運営形態の「指定」は指定管理を表しています。

※2 耐用年数は、財務省令「減価償却資産の耐用年数に関する省令」を用い記載したもので、使用可能期間を示すものではありません

※3 平成26年度実績報告書の収支決算書より記載。

※4 平成26年度実績報告書の収支決算書にAEDのリース料を加算した額。

3 各種分析結果

(1) 利用状況

平成 26 年度 月別利用人数 (人)

・ふれあいセンターいきいきの里

月	団体	利用者人数	月	団体	利用者人数
4	21	226	10	27	319
5	23	238	11	20	286
6	26	307	12	23	238
7	22	333	1	19	257
8	24	325	2	23	275
9	23	247	3	33	498
合 計					284
					3,549

(2) 1㎡当たりの運営コスト状況

平成 26 年度決算報告の支出と総延床面積から算出 (円/㎡)

	1㎡当たりの運営コスト
ふれあいセンターいきいきの里	4,064

小数点以下切捨て

(3) 利用者 1 人当たりの運営コスト状況

平成 26 年度決算報告の支出と平成 26 年度年間利用者数から算出 (円/人)

	利用者 1 人当たりの運営コスト
ふれあいセンターいきいきの里	363

小数点以下切捨て

4 施設について

(1) 施設の役割

・ふれあいセンターいきいきの里

地域のコミュニティの場として、サロン等の趣味やサークル活動や住民参加型の健康づくりや憩いの場として、幅広く利用してもらうことによる環境づくりを図っております。

(2) 現状と課題

・ふれあいセンターいきいきの里

社会福祉法人がサテライト型のデイサービス、また、介護予防事業の予防教室の開催場所として利用しています。地域の人も集会施設として月平均 300 人弱の利用があります。施設自体も比較的新しく、平成 14 年に建てられています。

しかし、軽微な修繕が発生しており、今後修繕費が増加すると見込まれます。また、駐車場が少なく車利用者にとっては不便な状況です。

<現状写真>



(3) 今後の施設の考え方

管理計画「第4章 1. 公共建築物管理基本方針 (12) その他施設」の方針に基づき、基幹集会所に対する行政需要見極めつつ進めていきます。

ふれあいセンターいきいきの里は現在、比較的新しく、利用者が多い施設であり、また、地域の集会所として機能しており、今後予防的修繕等による公共施設等の長寿命化を含め調査・計画を進めていきます。

5 再編検討結果

No	施設名	方針※1		長寿命化	スケジュール※2						主な改修履歴
		建物	機能		H28	H29	H30	H31	H37 まで	H47 まで	
1	ふれあいセンターいきいきの里	継続	—	—	調査	→	→	→	→	→	H24 下水接続工事

※1 方針—建物の「継続」は施設の継続維持、「廃止」は施設の廃止を表します。

※2 スケジュールの「調査」は施設現況調査、「計画」は基本計画策定、「実施」は実施計画策定、「施行」は長寿命化工事を表します。

